

2024年6月上旬配本予定

## 書くということ

沢村澄子 著

書くということ

沢村澄子

沢村澄子（さわむら・すみこ）

1962年大阪生まれ。新潟大学教育学部特設書道科卒業。大学4年の春に初個展。その後120回を超える個展を開催。書を「書くこと（Writing）」と定義し、「描かないこと（Not drawing）」で自作と絵画を分別する。宮沢賢治賞奨励賞（2019年）、芸術選奨美術部門文部科学大臣賞（2023年）、手島右卿賞（2024年）などを受賞。競書雑誌『墨心』、盛岡タイムス、河北新報、新美術新聞、『街もりおか』などにエッセイを、芸術新聞社『墨』に「この人と書と」を連載。現在は『いわて医師協だより』に「空喰書話」を連載中。<https://sawamura-sumiko.work/>

宮沢賢治賞奨励賞（2019年）、  
芸術選奨美術部門文部科学大臣賞（2023年）、  
手島右卿賞（2024年）を相次いで受賞した  
注目の書家のエッセイ集。

「わたしがわたしの書を始める、その覚悟は、  
それが始まったのは、わずか、わずか数年前のことだ  
（「はじまりはじまり」より）。

いま、新たな創作活動に向かうべく、  
過去の出来事を振り返り、日々の制作への思いを語り、  
自身の創造の秘密を言葉にしていく。

A6判・並製／224頁／定価＝本体1000円＋税  
ISBN978-4-911281-01-7 C0195

目次

はじまり はじまり

第一章 六才

屋根の雪／六才／越路吹雪／母の感動／ドリトル先生／絵画的、  
音楽的、な作文。／ホラを吹く／墨と一酸化中毒／墨とみそ汁／  
執着か性格か／雨音を聴く／どうでもいい／溶けてしまう 無く  
なってゆく

第二章 書くということ

つまみ出せ！／今すぐにでも帰りたい／変換する頭／ゲルハルト・リヒター／書くということ／動きの軌跡／一回三百円／在るということ／臨書は必要か（一）／臨書は必要か（二）／臨書は必要か（三）／発狂しなかった

第三章 わたしの職業

彩園子／売り絵について／書ければいい 書けばいい／圭子の夢は夜ひらく／マウスピースとぎっくり腰／人捌き 筆捌き／芸者 乞食 ストリッパー／わたしの職業／是非、一度、法華経。

第四章 阿頼耶識

宇宙はどこに／宇宙の運行／北斎と宇宙／阿頼耶識／降ってくる／魂の邂逅／わたしの空海／宮沢賢治（一）／宮沢賢治（二）／宮沢賢治（三）／宮沢賢治（四）／宮沢賢治（五）／賢治の書

第五章 何故、書き終わらないの？

小節線をなくす／壊してしまおう／男と女のいいな／ここに響く線／ターニャと英語で／気になる気／ワサビ事件／大宮さんと井上有一／やはり、重い！／何故、書き終わらないの？

おわるところ そのむこう

\* 作品集ではなくエッセイ集です。全5章、50編を超えるエッセイで構成された文庫サイズ（A6判）の一冊です。

\* 書籍内容についての問い合わせは、一畫社（担当：石山 [uteditoriale@gmail.com](mailto:uteditoriale@gmail.com)）まで。

▶ご注文はツバメ出版流通まで **fax 03-3721-1922**

tel 03-6715-6121  
info@tsubamebook.com  
<http://tsubamebook.com/>

貴店名（番線印）	一畫社 <a href="mailto:uteditoriale@gmail.com">uteditoriale@gmail.com</a>	返品条件付注文扱い 返品了解：ツバメ出版流通 川人
ご注文数	書くということ 沢村澄子 著	
ご担当： 様	冊	A6判・並製／224頁／定価＝本体1000円＋税 ISBN978-4-911281-01-7 C0195